

出前授業までの道筋を整える

スカイ学校支援ネットワークセンターが地域・企業などからの依頼を受け、協働で出前授業プログラムを作成して学校に広報し、出前授業が行われるまでの手順を紹介いたします。

①地域・企業などからの相談受付

地域・企業の人たちが子供たちに何を願う、何を教えたいのかを聞き、それを理解させるための指導法について具体的にアドバイスをします。

②出前授業プログラムを作成

学習指導要領のねらいや内容、主体的対話的で深い学びの視点に

即しているか、どの教科、領域の授業に適しているかなどをアドバイスし、フォーマットに沿って、

出前授業プログラムを作成します。次の視点を一つ一つ確認しながら、協働で進めます。

③

▽ねらいに特に関心な事項です。なぜこの授業を行うのか。子供たちにどのように育ってほしいのかなど、授業者の思いや願いなどを明確にまとめます。

▽対象に授業者の受講者（小学校低学年、高学年、中学生、保護者）を確認します。

▽講師に授業者を行う講師は誰か。それは1人かグループかな

多様な先生に学ぶ

学外人材活用と体制



NPO法人スカイ学校支援ネットワークセンター
理事長 森本 芳男

③

めて視点を明らかにします。

▽費用に無料、要相談、交通費、実費、材料費、運搬費などについて確認します。

▽申し込み方法に学校が直接事業所に申し込むかなどを確認します。

③学校への周知・広報

相互で確認した出前授業プログラムは、教育委員会の決済を受けて印刷し、各学校の管理職、事業担当教員、各学年主任に必要な部数を送付します。完成した個々の出前授業プログラムは、年度最後に「事業案内」として冊子にまとめ、配布します。

④学校からの申込受付

学校と地域、企業講師などで相談や調整をし、授業実施日を決定します。一覧表にして、それぞれ

が周知します。

⑤学校と地域、企業の講師の事前打ち合わせ

学校方針、教師や講師の願い、子供たちの実態について交流し、指導内容や方法、授業の場所や使用機器などを詳細に打ち合わせます。

⑥出前授業の実施

事務局は授業に立ち合い、授業担任や外部講師にアドバイスをしています。

⑦事業のまとめ・検証

事務局は担当教師からのアンケートや聞き取りを参考に、事業の検証をします。生徒や教師からの感想文、礼状などを地域や企業に送付します。このように、教育的な意義を十分に考えて出前授業を実施しています。